

☝️ 総胆管結石の治療について

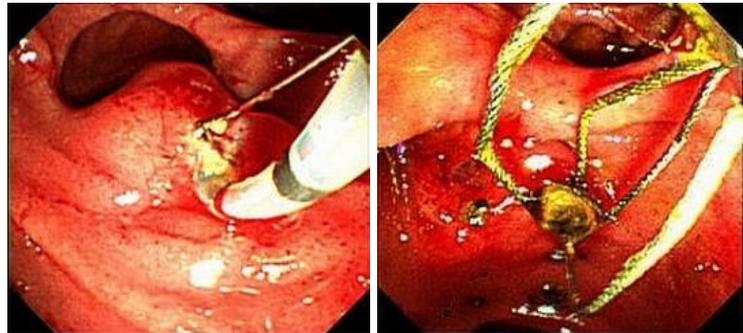
総胆管結石と診断された場合には、まず内視鏡的逆行性胆管造影(ERC)を行い、所見に応じて碎石・排石を行います。結石の大きさに応じて内視鏡的に乳頭部のバルーン拡張、もしくは内視鏡的乳頭切開術(EST)を施行します。大きい総胆管結石でも内視鏡的に碎石することが可能ですが、内視鏡的治療が困難な場合は腹腔鏡手術を行います。

胆管結石症に対しては、まず内視鏡によって胆管の出口を拡張して結石を摘出する内視鏡的乳頭切開術(EST)を行います。胆管の出口を広げた後、結石除去用のバスケットを胆管内に挿入して結石を除去します。

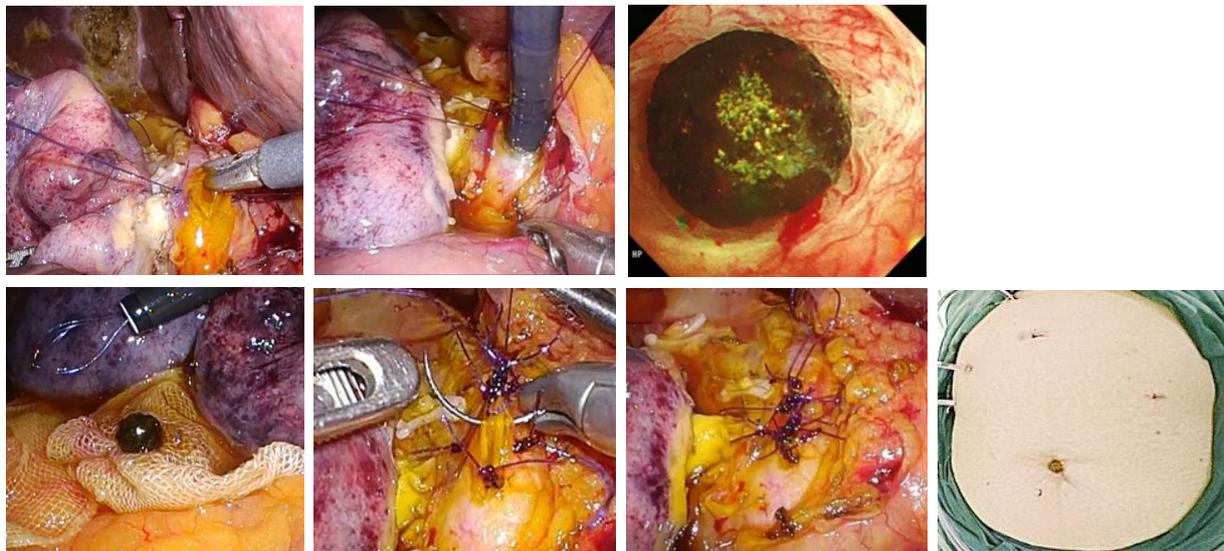
内視鏡治療が困難と判断した場合は手術(腹腔鏡下胆管切開結石除去術)で摘出します。



内視鏡的逆行性胆管造影(ERC)



内視鏡的乳頭切開術(EST)



腹腔鏡下胆管切開結石除去術

術後創部写真

腹腔鏡手術で胆嚢の摘出と総胆管結石の摘除を同時に行います。胆嚢摘出後、十二指腸上部総胆管を切開し、胆道鏡を用いて直視下に胆石を除去します。採石後は胆道鏡で結石遺残のないことを確認します。その後胆管切開部を腹腔鏡下に体内で結紮縫合を行い、閉鎖します。

腹腔鏡下総胆管切開結石除去術は高度な技術を要します。当院では検査を行い、適応を十分に検討したうえで積極的に行っております。但し、全ての総胆管結石の患者さんに対し、この治療法が可能というわけではありません。治療法に関してご質問などありましたら、外来にてご相談ください。